





IV 公益目的事業 3  
食育推進事業

① 日本料理全国大会の実施

② 食育基本法に基づく「食育」の推進活動等

た者又は職業紹介功労及び調理士紹介所登録の優良求職者等に贈られる厚生労働大臣及び都道府県知事表彰受賞のほか、叙勲・褒章受賞のための支援活動を行った。

② 元年度は、厚生労働大臣賞 6 名が受賞したほか、関係団体、養成施設などが実施する各種イベントでの優秀作品、成績優秀者に会長表彰を授与した（16 件）。また、6 月に行われた定時社員総会で 113 名が会長表彰を受賞した。

また、栄養関係功労者厚生労働大臣表彰受賞披露祝賀会が職調協を含め関係団体合同で開催された。

③ 当協会の独自の称号である「錬匠」として 3 名の者に及び「範匠」として 1 名の者に称号が授与された。

① 伝統ある日本料理の調理技術の伝承・発展と調理士（師）の職業能力開発向上、地域の特産を活かした食材料の有効活用による観光事業及び外食産業の発展・振興に寄与するため実施している「日本料理全国大会（食育展）」の第 39 回大会を内閣府、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省（観光庁）、文部科学省・文化庁、東京都及び中央職業能力開発協会の後援、（公社）民紹協、（公社）調理技術技能センターほか料理、飲食、旅館、技能士、調理師養成施設等の調理関連 14 団体の実施協力、キッコーマン食品（株）の協賛により、次のとおり実施した。

◇ 日 時 令和元年 9 月 25 日（水）

◇ 場 所 東京都台東区 東天紅上野店

◇ 内 容 「自由出展」、「郷土料理」、「技能コンクール」のほか、「参考出展」など料理出展計 115 名（121 小間）。

「調理関連器具材料展」計 5 社。

② 優秀な料理作品に対して、厚生労働、農林水産、経済産業、文部科学、国土交通の各省大臣賞ほか、東京都知事、厚生労働省人材開発統括官賞、中央職業能力開発協会会長賞他協力団体長賞などの各賞を 62 名に対して授与し、職業調理師（士）の技能向上と資質のかん養に努めた。

① わが国の急激な社会環境の変化に伴って発生している伝統的食文化や食習慣の喪失、食の安心・安全への信頼性の低下など、食生活に関わる諸問題解決のため広範な取り組みを目指す「食育基本法」に基づき、行政府庁が推進している食育啓蒙活動に協力するため、農林水産省主催の「食育推進全国大会」へ参加した。なお、元年度は、山梨県で「第 14 回食育推進大会」が開催され、当協会も参加した。

V その他の事業	③食育推進員認定講座への参加	①食育関係事業の重要な担い手となる食育推進員として認定を行うために、(公社)調理技術技能センターが実施する「食育推進員認定講座」の受講奨励を行った。元年度は、福岡県で実施され、3名が受講した。
	①関係団体との連携強化	(一社)日本能率協会、外食ビジネスウィーク実行委員会、(公社)全国調理師養成施設協会が実施する各種イベントに協賛したほか、他の調理業界団体が主催する日本料理コンクールや食育フェスタを協賛し、調理関係諸団体との連携を密にして交流を深めるとともに、調理師(士)の技術技能向上及び食文化の発展に努めた。
	②組織の強化拡充	組織の維持強化は、事業活動の基盤ともなる最重要課題ととらえ、常に組織の強化拡充に努めた。 元年度は、正会員の新規加入は3支部、退会支部が3支部、準会員は加入及び退会は無かった。 なお、会費未納で音信不通等の理由で1支部及び準会員2名の資格喪失を行った。
	③会議の開催状況	元年度は、次の通り会議等を開催した。 ①理事会(4回) 令和元年5月15日、6月20日、10月16日、令和2年2月19日 ②社員総会(1回) 令和元年6月12日 なお、社員総会終了後、懇親会が開催された。。 ③執行理事会議(13回)
④公益法人関係(内閣総理大臣あて)	①令和元年度事業報告書等提出(令和元年7月1日) ②変更届提出<理事の変更等>(令和元年9月30日) ③変更届提出<理事の変更等>(令和元年11月24日) ④令和2年度事業計画書等提出(令和2年3月23日)	